



↑ヒラメの稚魚を優しく放つ児童たち

★大 蔵之元小が稚魚放流 海原へ旅立つ

稚魚放流を通して、自然保全の精神を培おうと蔵之元小学校は5月28日、北さつま漁協や県の協力により、ヒラメの稚魚を放流しました。

これは「豊かな海づくりパイロット事業」の助成を受けて実施したものです。同校の3、4年生16人が指江港で約8センチの稚魚、1万8千尾を海へ放ち、稚魚たちは元気よく大海原へ旅立っていきました。

3年の岩澤優海ちゃんは「ヒラメがバケツの中に戻ってきて難しかった。小さいときに食べられないように気をつけて、大きくなってほしい」と話していました。

↓きれいに咲き誇る花壇に見入る伊藤知事



★景 県知事が本町訪問 観づくりで意見交換

5月8日、伊藤祐一郎県知事が本町を訪れ、町内視察や意見交換会を実施しました。

伊藤知事は、道の駅「黒之瀬戸だんだん市場」を最初に訪問し、本町の新鮮な特産品や施設を見学。続いて長島本島を反時計回りに一周して「ぐるっとフラワーロード事業」で整備された花壇などを視察しました。

さらにサンセット長島では、町や議会、各種団体、景観団体関係者らと景観づくりなどについて意見を交換しました。

★住 長島町消防団入退団式 民から信頼される団員に

長島町文化ホールで5月9日、長島町消防団入退団式が行われ、永年勤続者の表彰や入退団者への辞令交付などがありました。

町民の生命財産を守る消防団員。今年度の入団者は86人、85人が退団し総数は295人となりました。式典では、川添町長が「誠実に職務を遂行された退団者に敬意を表します。入団者は町民から信頼される団員となってください」とあいさつ。諏訪義則団長は「歴史と伝統を受け継ぎ、使命と責任を認識して真摯に取り組もう」と訓示しました。



↑諏訪団長が入団隊員へ辞令を交付